



先輩職員からのメッセージ

平成25年度採用 健康福祉部介護福祉課認定審査係 松山 直樹

① 志望動機、天理市を選んだ理由は？

私は市役所に入庁する前に、民間企業で営業職として勤めていました。

営業職として、様々な人と出会い、会話を重ね、思いを分かち合うなかで、強く感じたのは、それぞれの人が持つ地元愛でした。私自身も地元で暮らす方々に一人でも多く、少しでも多く満足して頂けるようなサービスを提供できる仕事がしたいという気持ちが芽生え、その思いを実現すべく多種多様な分野かつ内容のサービスが提供できる市役所職員を志し、地元である天理市を志望しました。



② 現在、どんな仕事をしていますか？

介護保険を利用して、介護サービスを受ける際、『要介護認定』を受けていただく必要があります。私の係である認定審査係の主な業務は、その要介護認定の申請の受付から介護度の決定までの事務が中心です。私は、『要介護認定』は介護サービスを受けるための“入り口”であると考えます。そのため、『要介護認定』の信頼性が、介護保険制度そのものに対する信頼に大きな影響を及ぼしかねないので、何事においても誠実な対応を心がけています。

③ 実際、仕事をしてどんなところにやりがいを感じますか？

要介護認定を受けられる方は様々な方がおられ、申請者様やそのご家族様が持つ感情も実に様々です。介護の必要性は認識しているものの、実際に家族の誰かが、介護を受ける必要があるという状況になるまで介護保険の制度や介護サービスについての知識や理解がほとんどないというのが現状です。そのため、特に新規でご家族様の要介護認定を申請される方は、今後の生活の見通しも付かないような状態で、介護のことははじめ様々な不安をお持ちであり、時には申請の窓口で涙されるご家族様もおられます。私は申請者様やご家族様のそのような気持ちや思いを汲み取り、抱えておられる不安を少しでも減らすことこそが、この仕事の本質であると思います。そのため、申請者様やご家族様の不安を少しでも取り除くことが出来た時、また感謝のお言葉やお手紙を頂いた時に、大きなやりがいや喜びを感じます。



④ 天理市職員を目指す人に一言！

「人が役人を尊ぶのは、その人の身分が高いから尊ぶのではなく、その人の才能と人格をもって公務に励み、民のために行政を取り扱うから尊ぶのである。」この言葉は福沢諭吉の「学問のすすめ」にある一文で、まさに公務員メンタルを表現した言葉だと思います。行政職は全てが法律に根拠を持つ仕事ではありますが、私は想いや気持ちがあれば何でも出来る職業だと思っています。

来春、同じ職場で切磋琢磨し、お互い会えるよう働けることを楽しみにしています。